

ICT 機器を活用して、効果的なプレゼンテーションを目指させています。発表練習、評価、振り返りの場面でも、更に ICT 機器を有効活用することが期待されます。

【実践 5 : 英語表現 II】

「英語表現 II」 学習指導案

1 日時・実施場所

2 学級

科 第 学年 組 (男子 名, 女子 名, 計 名)

3 学級観

授業は比較的、落ち着いた雰囲気で行われているが、英語力に関しては中学校で身に付けておくべき力が備わっていない生徒もいる。家庭での学習習慣を身に付けさせることにも苦勞している。授業での言語活動などを通して、英語学習への興味や関心を高めさせ、自信をもって英語を使う経験をさせたい。

4 教材

(1) 教科書

単元名 プレゼンテーション「町のお薦めスポット」

※ 実際にお薦めの場所を訪れ、撮影した写真や動画などを活用して発表資料を作成する。

5 単元の目標

自分たちの住む町のお薦めの場所について、事前に話す内容を準備した上で、基本的な語句や定型表現を使い、簡単な情報を伝えることができる。

6 単元の評価規準

評価の観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
評価規準	①ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、聞き手に分かりやすく伝えようとしている。 ②ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、他の生徒の発言をしっかり聞いている。	①自分たちの住む町のお薦めの場所について、既習の語句や文法事項を使い、書くことができる。 ②①の原稿をもとに自分たちの住む町のお薦めの場所を紹介することができる。	①教師や他の生徒の発表を聞き、要旨を理解することができる。	①既習の語句や文法事項の基本的な用法を理解している。 ②聞いた内容について簡単な質問をしたり感想を述べるための表現を理解している。
内容の まとめ	①話すこと ②聞くこと	①書くこと ②話すこと	①聞くこと	①②書くこと
評価方法	①②活動の観察	①ワークシート(発表原稿) ②発表	①ワークシート, 活動の観察	①ワークシート(発表原稿) ②ワークシート, 活動の観察

7 単元の指導計画

指導内容	配当時間
プレゼンテーションの実施要項(p.42)を配付し、評価の観点を説明する。なるべく近隣に住んでいる生徒同士でグループをつくり、自分たちの住む町のお薦めの場所について話し合う。	1 時間

指導内容	配当時間
紹介する場所を決め、グループの中で誰がどの場所を紹介するかを決める（1名は Introduction, Conclusion を担当する）。発表の際に、どのような資料を使用するかも検討する。第1原稿を作成し、提出する。	2時間
第1原稿を返却する。生徒が加筆、訂正をし、再度提出する。教師がモデルを示し、プレゼンテーションをする際の留意点をワークシート等を使って説明する。	1時間
原稿を返却する。最終原稿を作成する。プレゼンテーションをする際の資料をパワーポイントを用いて作成する。本番に向けて、練習やリハーサルを行う。	2時間
自分たちの町のお薦めの場所について、グループごとにプレゼンテーションを行う。発表するグループ以外はプレゼンテーションを聞き、質問やコメントを記入する。	1時間（本時）
教師による評価結果（ルーブリック形式）を返却し、フィードバックする。	1時間

8 本時の目標

- (1) 抑揚、発音、意味の区切り、アイコンタクト等を意識しながら、相手に伝わりやすいように発表する。
- (2) グループ・ワークに積極的に参加し、主体的に活動することができる。
- (3) 他のグループの発表を聞き、質問をしたり感想を書くことができる。

9 本時の評価規準

評価の観点	1. コミュニケーションへの関心・意欲・態度	2. 外国語表現の能力	3. 外国語理解の能力	4. 言語や文化についての知識・理解
評価規準	① 授業に積極的に参加し、伝えたいことをグループのメンバーまたはクラス全体に向けて主体的に話している。	① 正しいイントネーションや、身振り手振り等を使って、聞き手に伝わりやすいよう心がけてスピーチをすることができる。	① 教師のモデルスピーチや他の生徒のスピーチを聞き、要旨を理解することができる。	① 既習の語句や文法事項の基本的な用法を理解している。
内容のまとめ	① 話すこと	① 話すこと	① 聞くこと	① 書くこと
評価方法	① 活動の観察	① 活動の観察	① ワークシート、活動の観察	① ワークシート

10. 本時の展開（「主な評価の観点」の（ ）内の数字は、「9. 本時の評価規準」における四つの「評価の観点」を示す。）

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
5分	Warm Up ジェスチャーゲーム	・グループで、ジェスチャーを用いて英文の空所を埋めるゲームをする。	・ゲームのルールや進め方をクラス全体に説明する。	・積極的に活動に参加しているか。 (1)	活動の観察
5分	1. 音読練習	・生徒たちの書いた原稿に出てきた簡単な英文を使用し、抑揚を付けて音読する練習をする。	・内容語と機能語の違いを意識して、教師が抑揚を付けて音読し、生徒にリピートさせる。	・正しいイントネーションで音読できているか。 (2)	活動の観察

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な 評価の観点	評価 方法
5分	2. 教師によるモデルの提示	・教師によるモデルを聞き、発表をする際の留意事項を再確認する。	・生徒のモデルになるように、ルーブリックの評価項目を意識しながら発表する。		
4分	3. 発表の最終練習	・ルーブリックの評価項目を意識し、本番前の最終練習をグループ内で行う。	・ALTと必要に応じて抑揚、発音などの指導を行う。 ・ALTには評価のために授業に参加してもらう。	・指導の内容を踏まえ、聞き手に伝わりやすいように話せているか。 (2)	活動の観察
23分	4. 自分たちの住む町のお薦めの場所についての発表と発表に対する質問	・班ごとにクラスの前立ち、自分たちの住む町のお薦めの場所についてパワーポイントを用いて発表する。 ・教師からの質問に答える。 ・発表について質問をしたり、感想を述べる。	・発表しやすい雰囲気をつくる。発表を聞くときの留意点を指示する。 ・生徒のつまずきに応じて支援する。	・抑揚、発音、意味の区切りやアイコンタクト等を意識しながら発表することができるか。(2) ・教師や他の生徒からの質問に適切に答えているか。(3)(4) ・適切な質問をしたり、感想を述べたりしているか。 (3)(4)	活動の観察 ワークシート
3分	Wrap Up 全体に向けてのフィードバック(全部のグループが終了しなければ、次回の授業で行う)	・発表を終えた班への質問やコメントを記入する。教師からのフィードバックを聞く。	・本日の所感を述べ、次回の授業で、どの班から発表するかを予告をする。		

～ ～ ～ ～ ～ Lesson 10 言語活動プリント ～ ～ ～ ～ ～

◆Task 1 You would like to introduce your hometown to foreigners who live in Japan. Tell them about nice places to visit, interesting things to do, and special dishes to enjoy and so on. In your group, choose three places (things) in your hometown and make a presentation about them. The presentation should be about three minutes.

1st Step ～Brain Storming～

Name your favorite places (things) in your hometown and make a list for the presentation. Work in your group.

Name	What can you do there?
Nagoya Port	You can enjoy seeing various kinds of fish at the aquarium. You can ride a Ferris wheel at the port.

■Useful Expression

Q: Could you tell me about the good points about your hometown?

A: Sure. I live in _____.

My favorite place in my hometown is _____.

My hometown is famous for _____.

There is(are) _____ in my hometown.

If you visit my hometown in _____ you can enjoy _____.

Continue the conversation.

2nd Step

Choose three places (things) from the list. You have to bring a photo of each place or the thing itself.

自分たちが紹介する場所, 名産品等の名前を書きなさい。※班で三つ (必ず写真や現物を用意すること)

1

資料を用意する人→ _____

2

資料を用意する人→ _____

3

資料を用意する人→ _____

資料をまとめる人 (パワーポイント) → _____

3rd Step

Choose three places (things) which you put in your presentation and explain each place(thing) in English. Work in your group.

1 Things(photos, videos...) which you use in your presentation

→

2 Things(photos, videos...) which you use in your presentation

→

3 Things(photos, videos...) which you use in your presentation

→

4th Step Write the second draft for each place (event).

5th Step Write introduction and conclusion of your speech.

Introduction

--

Conclusion

--

評価表 (Rubric)

指導過程で重視した内容を、配点にも反映させます。

評価項目	評価基準		
発音 抑揚 意味の区切り	正確な発音で、効果的に抑揚を付け、意味の区切りを意識してスピーチすることができる。	完全ではないが、正しい発音で、抑揚や意味の区切りを意識して発表しようという姿勢が感じられる。	間違った発音が目立ち、抑揚や意味の区切りを意識せず、一本調子のスピーチになっている。
	10点	5点	3点
非言語コミュニケーション	適度に聞き手に視線を向けたり、効果的に資料等を用い、分かりやすく伝えることができる。	資料等を用い、分かりやすく伝えようとしている。	資料等を使わず原稿を読んでいるだけのスピーチになっている。
	5点	3点	1点
内容 (1) 場所やイベントの紹介担当者用	場所やイベント等に関して、個人的なエピソードや感想を交えて、聞き手の興味を引くような内容である。	場所やイベント等に関して、個人的なエピソードや感想を交えて紹介している。	場所やイベント等に関する情報提供が中心で、個人的なエピソードや感想が含まれていない。
	5点	3点	1点
内容 (2) 導入と結論の担当者用	導入と結論がともに聞き手にとって分かりやすく、紹介する場所やイベント等にふさわしい内容になっている。	導入と結論のどちらかは聞き手にとって分かりやすく、紹介する場所やイベント等にふさわしい内容になっている。	導入と結論がともに聞き手にとって分かりづらく、紹介する場所やイベント等にふさわしくない内容になっている。
	5点	3点	1点
			合計 点

<実践5 CAN-DOリスト>

学習到達目標と外部指標による目標値を、詳細にまとめています。

	1年	2年	3年
話すこと <発表> Spoken Production	<p>1-1 英語の授業の中で、教師に簡単な質問をしたり、許可を求めたりすることができる。</p> <p>1-2 絵を見て、風景や状況を、簡単な語や基礎的な構文を用い、簡潔に描写することができる。</p> <p>1-3 前もって話す内容を用意した上で、基礎的な語句、定型表現を用いて、人前で実物を見せながらその物を説明することができる。</p> <p>1-4 基礎的な語句、定型表現を用いて、限られた個人情報（家族や趣味など）や簡単な情報（時間や日時、場所など）を伝えることができる。</p> <p>1-5 前もって話す内容を用意した上で、身近なトピックについて、簡単な語句や基礎的な構文を用い、意見を述べることができる。</p>	<p>2-1 英語の授業の中で、教師に質問をしたり、許可を求めたりすることができる。</p> <p>2-2 絵を見て、風景や状況を、簡単な語や基礎的な構文を用い、複数の文で描写することができる。</p> <p>2-3 一連の簡単な語句や文を用い、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。</p> <p>2-4 写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、一連の簡単な語句や文を用いて、日常生活に関連したトピック（自分自身、学校、地域など）について、短いスピーチをすることができる。</p> <p>2-5 一連の簡単な語句や文を用い、意見や行動計画を、理由を挙げながら簡潔に述べることができる。</p>	<p>3-1 英語の授業の中で、教師に質問をしたり、許可を求めたりすることができる。</p> <p>3-2 絵を見て、風景や状況を簡単な語や基礎的な構文を用い、複数の文で順序立てて描写できる。</p> <p>3-3 写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を用いて、日常生活に関連したトピック（自分自身、学校、地域など）について、短いスピーチをすることができる。</p> <p>3-4 一連の簡単な語句や文を用い、意見や行動計画を、理由を挙げながら簡潔に述べることができる。</p> <p>3-5 使える語句や表現をつないで、自分の経験や夢、希望を順序立て、話を広げながら、ある程度詳しく語るすることができる。</p>
話すこと <やり取り> Spoken Interaction	<p>1-1 教師による、英語での簡単な指示に対して応答することができる。</p> <p>1-2 挨拶をはじめとして、簡単なやり取りをかわすことができる。</p> <p>1-3 なじみのある定型表現を用いて、時間・日にち・場所について質問したり、質問に答えたりすることができる。</p> <p>1-4 家族、日課、趣味などの個人的なトピックについて、（必ずしも正確ではないが）なじみのある表現や基礎的な文を用いて、質問したり、質問に答えたりすることができる。</p>	<p>2-1 教師による、英語での指示・説明に応答することができる。</p> <p>2-2 自分自身についてなど、なじみのある話題について英語で短いやり取りができる。</p> <p>2-3 基本的な語や言い回しを用いて日常的なやり取りにおいて応答することができる。</p> <p>2-4 趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。</p> <p>2-5 基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けたり、断ったりすることができる。</p>	<p>3-1 教師による、英語での指示・説明に応答することができる。</p> <p>3-2 簡単な英語で、意見や気持ちをやり取りしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。</p> <p>3-3 予測できる日常的な状況（郵便局・駅・店など）ならば、さまざまな語句や表現を用いてやり取りができる。</p> <p>3-4 身近なトピック（学校・趣味・将来の希望）について、簡単な表現を幅広く用いて意見を伝え、情報交換ができる。</p>
書くこと Writing	<p>1-1 簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好き嫌い、家族、学校生活など）について短い文章を書くことができる。</p> <p>1-2 自分の経験について、辞書を用いて短い文章を書くことができる。</p>	<p>2-1 文と文を and, but, because などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙や簡単な句や文を用いて、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。</p>	<p>3-1 自分に直接関わりのある環境（学校、職場、地域など）での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。</p>

	1年	2年	3年
書くこと Writing	1-3 趣味や好き嫌いについて、簡単な語や基礎的な表現を使って複数の文で書くことができる。 1-4 日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	2-2 身の回りの出来事や趣味、場所などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域の事柄であれば、簡単な描写ができる。 2-3 聞いたり読んだりした内容(生活や文化の紹介などの説明や物語)であれば、基礎的な語彙や表現を用いて、感想や意見などを簡潔に書くことができる。	3-2 身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、順序立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。
聞くこと Listening	1-1 かなり配慮して、1文ずつゆっくり話してもらえば、教師による英語での簡単な指示・説明を聞いて理解することができる。 1-2 かなり配慮して、1文ずつゆっくり話してもらえば、ごく簡単な英語で話された、事物に関する紹介や対話を聞いて、情報や考えを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	2-1 ある程度配慮して話してもらえば、教師による英語での指示・説明を聞いて理解することができる。 2-2 ある程度配慮して話してもらえば、簡単な英語で話された、事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	3-1 はっきりとした発音で話してもらえば、教師による英語での指示・説明を聞いて理解することができる。 3-2 はっきりとした発音で話してもらえば、分かりやすい展開の、事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。
読むこと Reading	1-1 コミュニケーション英語Ⅰの教科書(1,600語レベル)を読んで、概要や要点を捉えることができる。	2-1 コミュニケーション英語Ⅱの教科書(2,300語レベル)について、速読や精読など目的に応じた読み方ができる。 3-3 簡単な英語で表現されている旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想しやすいものから、必要な情報を探することができる。	3-1 コミュニケーション英語Ⅲの教科書(3,000語レベル)について、速読や精読など目的に応じた読み方ができる。 3-2 看板、メニュー、携帯メール、ポスターや招待状等の日常生活で使われている簡単な文章を読み、理解することができる。
外部指標 <目標>	・英検3級(全員) ・英検準2級(名以上) ・受容語彙:2,000語 * 中学校(1,200) + コミュ英Ⅰ(400) = 1,600語 * 英検3級 ≒ 中学卒業程度(2,000語レベル) [身近な英語を理解し、また使用することができる]	・英検準2級(名以上) ・英検2級(名以上) ・受容語彙:3,600語 * 1年次まで(1,600) + コミュ英Ⅱ(700) = 2,300語 * 英検準2級 ≒ 高校中級程度(3,600語レベル) [日常生活に必要な英語を理解し、また使用することができる]	・英検準2級(名以上) ・英検2級(名以上) ・受容語彙:5,000語 * 2年次まで + コミュニケーション英語Ⅲ(700) = 3,000語 * センター試験(4,000語超) * 英検2級 ≒ 高校卒業程度(5,000語レベル) [社会生活に必要な英語を理解し、また使用することができる]